

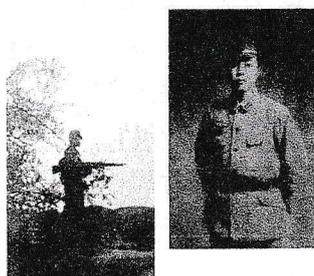
憲法九条やまとの会

リレーインタビュー



浜崎 重信さん

1920年（大正九年）6月東京生まれ。92歳。19歳で志願。徴兵検査甲種合格。中国山東省陸軍歩兵大隊第2中隊に配属。中国戦線で戦った。戦後、厚木基地爆音反対運動で活動。大和市「戦争体験の語り部」として活動中。



憲法が極めて危ない 7月参議院選が剣ヶ峰

—教育で軍国少年に—

尋常小学校1年から「教育勅語」を暗唱。忠君愛国の教育を受け、「国のために戦う」気持ちでいた。尋常小学校6年修了後、医療機器工場で鉗子を作った。19歳で徴兵検査甲種合格。十五年1月中国済南陸軍歩兵大隊第2中隊に配属され、鉄道警備、敵兵討伐の作戦に配備された。日中戦争（1937年～）の最前線だった。

—加害者だった日本—

初めての戦闘経験は、中国軍（共産党が指揮する八路軍）との戦闘だった。八路軍はいつも強かった。ガス弾を使い、防毒面を被って掃討したが、九州出身の兵が2名戦死した。夕暮れに逃げる女と子供を小隊長が「あれを撃て」と命令。「えっ!」。拒否できなかった。軽機関銃で400m先を撃った。二人は倒れたが少し的を外して撃ったのであたってはいないはず。

日本軍出兵の理由は、「住民を苦しめる中国軍を懲らしめ中国人を助けるためだ」と言っていたが、まったく逆。「日本軍返れ」の看板。無理もなかった。討伐行軍で、敵性部落とみなした中国住民の部落を襲い、殺し、婦女子を犯した。目ぼしい食料を奪い、住民が戻れぬように火を放った。河の堤防に穴を開け、堤防を決壊させて部落を壊滅させた作戦もあった。山東省の731部隊は、化学生物兵器作戦を実行し、討伐地区でコレラを蔓延させた。部隊の日本兵も羅り後方に送還した。

戦闘で捕虜にした15・6人の中国兵は済南の収容所から日本に連行された。「うさぎ狩り」と言い、農民も強制

連行し収容所に送り日本で働かせたのだった。駐屯地に慰安所があり、朝鮮人の慰安婦も済南にいた。従軍看護婦になれると騙されてきた。軍の少将クラスの特務機関が請け負っていた。いろんな資料が敗戦時に命令で焼却された。中国、朝鮮は日本軍にやられたことを絶対忘れない。今の反日運動もまだ根底に被害者の意識がある。

—新憲法で、殺人をせずに済む—

中国軍との戦闘で戦友が大勢戦死。十六年秋、560高地奪取の戦闘では八路軍の反撃で、中隊180人中60人が戦死し、自分も狙撃された。退却時には2度も狙い撃ちされたが命拾いをした。自分の小隊でも8人戦死した。

八路軍に捕虜になった隊長と衛生兵が一カ月後に脱走して原隊に戻ったが、部隊長は二人に拳銃と日本刀を並べて自決しろと迫った。二人は自決せず軍法会議で懲役11年になった。捕虜になるな、死ぬと教育されていた。

新憲法の発布によりこれで私たちは銃で人を殺すことが無くなってよかったと思いました。戦争に正義の戦争はありません。

—戦争の語り部として—

昨年12月7日、市内の小学校で「戦争体験」を語りました。小学校6年生で、日本がアメリカと戦争したことを知りません。戦争体験者がいなくなっています。教育・教科書は大事です。自民党や安倍首相は憲法九条を変えようとしている。天皇は元首に、自衛隊を国防軍に、戦前と同じ方向です。日本は平和憲法で、戦後これまで戦争をせずにこれました。憲法九条は今、守らなくてははいけません。
(文責 丸山)

憲法九条やまとの会主催企画（ピースウォーク、賛同者会議、地域懇談会）と参加企画

第5回ピースウォーク（10/17）
日吉台地下壕跡見学会 31名



東横線日吉駅前の、慶応大学キャンパス内には、アジア太平洋戦争の末期、旧海軍の秘密地下施設が建設され今も残っています。昭和19年3月以後「連合艦隊司令部」「海軍総司令部」は、ここから戦艦「大和」の出撃命令など、特攻作戦の指令を出し、戦況と特攻兵士の最後の声を傍受していました。蟻の巣のように広がる巨大で頑丈な壕内は、暗い中に今にも司令官の突撃命令が聞こえてきそうな冷たく重い空気が漂っていました。案内役の「保存会」の皆さんの活動に感謝しました。

賛同者会議の報告（11/10）

活発な話し合いの場に！

昨年11月10日、賛同者会議を持ちました。

＜現状の認識＞

衆議院選挙を控え、憲法を変えようとする勢力が、勇ましい発言を繰り返している。日中、日韓との関係も険悪になっているなかで、現状の日本をどう見ているのか、参加者の活発な話し合いが行われた。

＜身近な厚木基地の今＞

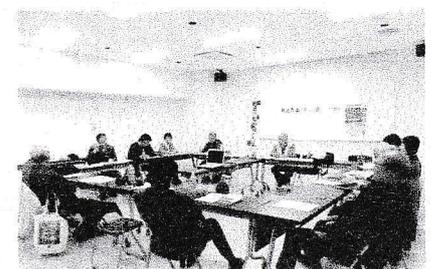
厚木基地の騒音被害について映像を公開する活動を進めている人の話、その騒音は騒音規制値の200億倍と紹介した建設の専門家の話、大和と海老名の市議会でもオスプレイの反対決議がなされなかったため、オスプレイが飛来することになるなど、報道されない中で進んでいる被害の実態が明らかにされた。

＜その他危惧すること＞

維新の会の維新は明治維新ではなく戦争に突入した昭和維新と解釈するべき。アジア太平洋戦争で多大の犠牲者が出たにもかかわらず、子供への戦争教育が低調になっている、とは語り部の話。

＜自発的な運動の広がり＞

反原発の運動が続いている。これらは自発的な盛り上がりであり、広い世代にわたって担われている。これは将来を切り開いていくすばらしい動きである。



九条まつり 輝け憲法（12/8）
今こそ九条inざま

地域懇談会・大和北部 「魅せられて」シリーズ 2013/2/13
「ミャンマーのケシ畑を薬草にかえる」 大和市勤労福祉会館

＜感想＞ 午前分科会「神奈川から基地を考える」での基地巡りは、厚木・座間・相模原各々地元の方による解説付きで、「特権的」なアメリカ軍の撤去なくして独立国としての発言は無い日本だと分かったように思った。基地維持のために膨大な血税が使われていると思うと悔しい！「ただちにゼロ」とする政府を作りたいものだ。

午後の高田健さんのお話は、圧巻だった。政党選択の最大基準は、憲法九条だと、
とらえることを
訴えられたと
受け止めました。



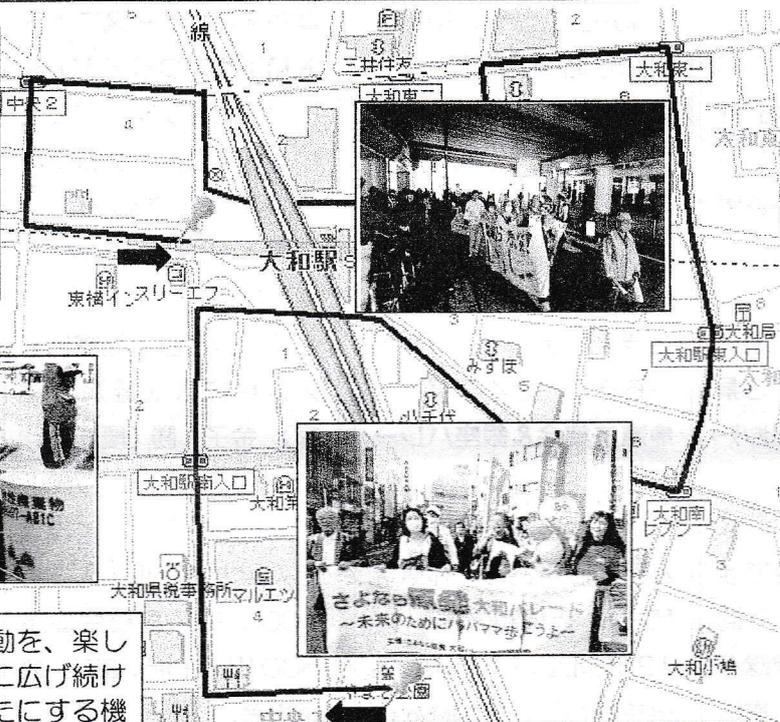
佐竹 元吉さん

講師の深く広い
こだわりや見識を、
身近に聞いてみた
いと企画。

今年は、長年厚労省で輸入生薬に関わり、鎮痛薬の原料でもあるケシの研究と薬草の知識も経験も豊富な佐竹元吉さん（お茶の水女子大客員教授）に話していただいた。定年間近日本の麻薬対策の一つであるミャンマーでのケシ撲滅計画の取組を打診され、2001年3月に初のミャンマー行を決行。武器購入の換金目的でケシ栽培するかつて日本軍の侵略地帯でもあった北部山岳地の少数民族。

佐竹さんは、内戦が止まず政治の安定が無ければ民生の向上はないと確信。ケシ撲滅の事業プロジェクトを立ち上げ、代わりに有用な市場価値の高い薬草を探し、住民に生産法を教え日本への販路と流通路も確保。ここ数年、ミャンマーに外国資本が続々と入り込んで大型スーパーが増え、この先どんな変化が起きるのか…国内産との競合や TPP 問題で国内自給率はますます細ってくることは確実な日本農業の未来も心配。ODAや資金援助の問題、グローバル経済・日本の歴史問題など真剣に目を向けなければと気付かされた。（春）

地元で行動を！ 赤ちゃんを抱っこしたパパママからジジジ・バババまで270人を超える大勢の人々が参加し、「原発なんていない」の思いをアピールしました。①



「さよなら原発」の運動を、楽しく・ノビノビと緩やかに広げ続けていこうと、決意を新たにすることがになりました。(柿) ③

「さよなら原発大和パレード実行委員会」主催

大和駅を一周、核廃棄物と書かれたドラム缶を叩きながら、イエローサブマリン音頭の替え歌「原発なんていないよ」を歌い、約1時間練り歩きました。沿道の方々の声援、飛び入り参加、笑顔あふれる明るく楽しいパレードでした。安倍首相、「安全な原発から再稼働をと、この美しい国土をさらに放射能まみれに穢すのですか？」 ②

ご案内 『憲法学習会+賛同者会議』

& 7周年記念講演会

憲法九条やまとの会

4/29
(月)
予告

『憲法学習会+賛同者会議』
高座渋谷 イコーザ 305号
(14:00~17:00)

◆憲法学習会

チューター：滝本太郎弁護士

テーマ：「憲法改定で自民党は何を考えているのか」

参加費：300円

平和主義・国民主権・基本的人権の尊重は、行政権力が暴走しないように国民が規制をはめる近代的立憲主義に基づく。

しかし、今、68年にわたり他国と戦闘をしないことで培ってきた平和国家としてのステータスを放棄するような動きがある。

憲法改定の意味する所は何か？ぜひ、憲法学習会に参加し、一緒に考えましょう！！

◆賛同者会議

憲法、原発、TPP等々について、自由な討論をしていきます。

7周年記念講演会

大和市保健福祉
センターホール

6/1
(土)
予告

「この声を国政へ、
なにより広く深く国民へ」

<講師>

一 下村健 「ケーススタディ・脱原発運動の場合」
一 高田 健 「改憲情勢」

●民主党政権で広報役をしていたジャーナリスト下村健一さん ●改憲情勢に詳しい高田健さん

<案内>

時間 午後1時開場、1時30分~午後4時45分

参加費 ★1,000円(前売800円)

★学生・障がい者500円

主催 憲法九条やまとの会(046-272-8880)

後援 大和市・大和市教育委員会

今年は9条が改憲されるかどうかの重要な年。当会独自の「今、九条改憲を止めるメッセージ・平和を望み、維持したい…」に賛同する一点で集まった私たち、海外派兵をとめるべく9条改憲阻止の大同団結をしようではありませんか。

行事予定 (他団体主催分)

投稿

◆4月20日(土)

●神奈川県母親大会／藤沢市民会館／主催 実行委員会／1000円／10時～6分科会(教育・健康・働く女性等)／1時～講演ジャーナリスト齋藤貴男「平和・貧困と格差」／045-641-8815

◆5月3日(金・祭日)

●憲法を考える5.3県民集会／神奈川県民センターホール／13時開場／講演①山内敏弘(竜谷大学教授)「国防軍は必要ですか」・②沖縄反戦地主外間三枝子・③映画「軍隊を捨てた国」／主催・憲法フォーラム・平和センター／500

円／045-231-2497

●5.3県民のつどい／神奈川県公会堂(JR東神奈川)13時開会／講演①渡辺治(一橋大学名誉教授)「安倍政権と私たちの暮らし」②星野文紀(弁護士)「憲法と集団的自衛権」／主催・神奈川県憲法会議／500円／045-651-2431

●憲法集会&銀座パレード2013／講演：アイリオン・美緒子・スミスさん、加藤裕さん、福島瑞穂さん、志位和夫さん／13時開会(11時より入場券配布)／日比谷公会堂／主催：許すな！憲法

改悪・市民連絡会

◆5月19日(日)

●かながわピースフェア大和平和まつり／10時開会 大和駅東側プロムナード／主催：実行委員会／046-200-5388(神奈川県大和支部)

◆5月31日(金)

●「原発と日本国憲法」／内橋克人(経済評論家)、金子勝(慶応大学教授)、落合恵子(作家)／19時～21時／鎌倉芸術館大ホール／入場券1000円／高校生以下500円／主催：鎌倉・九条の会／0467-24-6596

★ オスプレイが厚木基地にやってきそう

大和市議会は昨年11月29日に「オスプレイが厚木基地を使用しないことを求める決議」を全会一致で議決した。厚木基地周辺住民の会も3月に南関東防衛局にオスプレイの厚木基地使用を止めよと申し入れた。しかし、連絡調整室長は「本土の区域・施設に飛来すると米軍から聞いている」「その中には厚木基地も入っている」「それ以上のことは聞いていない」というだけで、米軍に情報提供を求めるとは言わなかった。

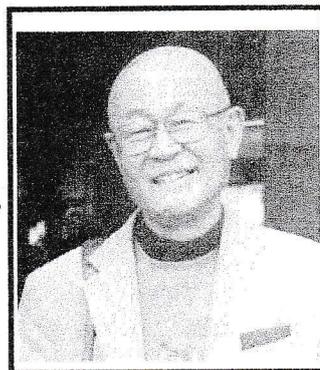
あれでも日本の防衛省ですかね。(上野 格)

中山浩彰さんの死を悼みます

中山さんが12月14日に亡くされました。残念です。中山さんは憲法九条やまとの会発足準備の時からスタッフならびに多くの賛同者の方々と共に、会の前進のために力を尽くされました。温厚なタイプで、大切な「まとまり」をかもしだす方でありました。そしておしゃれでした。

病気の発見の経緯と経過を奥様から伺っておりました。10月28日、新宿での「中山さんを励ます会」では、元気そうにふるまっておられましたが、相当こたえているのが分かりました。

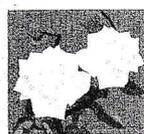
11月24日に病院にお見舞いに伺った時は、元気に応じていただきましたが、実は重くこれが最後の面会だと知りました。



そして間もなく個室に移られ、12月14日に亡くされました。

ほぼ7年のお付き合いでしたが大切な方を無くしました。

このたびの総選挙では九条改憲勢力の台頭を阻止できませんでした。彼らの目論みを成功させぬ活動を強めることを約束します。速すぎましたが、ゆっくりとお休みください。あわせてご家族の皆さまにお悔やみを申し上げます。



2012年12月18日
憲法九条やまとの会
事務局長 齋藤竜太

編集後記 ●●●●

戦争を体験された方々の他界に相次いで遭遇します。多くの方が、あのような体験を次の世代にして欲しくはないと伝えて下さいました。そのことをどれだけしっかりと受け止めているだろうかと自問します。

さまざまな事が、胸騒ぎがする方向へと傾いているのではないかと感じます。

68年間戦争をせずに暮らせたことを踏まえ、これから先も平和を維持する努力を、上手に培っていく社会を創っていきたくと切に願います。MI